

## 大判インクジェットプリンターの紹介

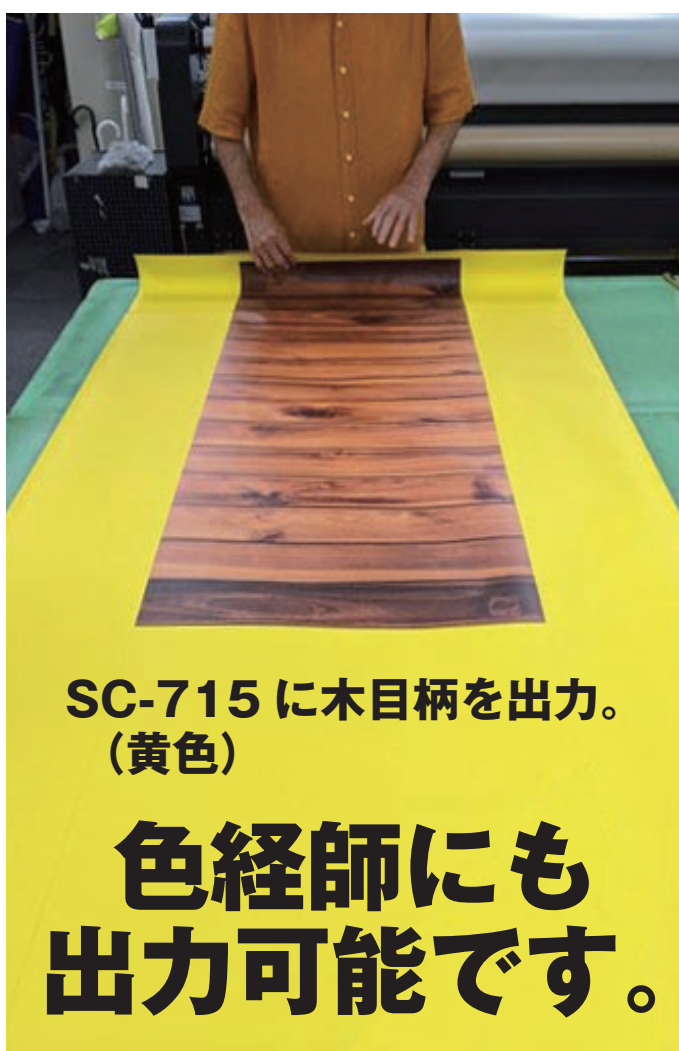
～ UV インク・溶剤インク・水性インクプリンター ～

こんにちは！アイマックスです。  
急に涼しくなってきましたね。  
季節の変わり目で体調を崩しやすいので気をつけたいですね。

今回は**大判インクジェットプリンター**について紹介します。  
弊社では **UV インク・溶剤インク・水性インク** の3種のプリンターを用途ごとに使い分け、  
年間で、東京ドームのグラウンド面積以上の 14,588㎡を出力します。(2019年実績)

### ■ UV インク (Mimaki)

一番使用頻度の高いプリンターです。  
特徴としては、UV 光で短時間に硬化させるので乾燥時間が早く、  
同機種 2 台で単納期になりがちな展示会のサイン製作やイベントの大量出力案件で重宝しています。  
様々なメディアに出力可能で、**色経師やダイノックフィルム**などへも**出力可能**です。  
**白インク出力にも対応**しています。  
印字面が硬く仕上がり、ラミネート加工なしでもある程度雑に扱っても傷が付きにくいのも特徴です。  
**用途：出力経師・バックライトフィルム・塩ビシート・パネル・バナーなど**



### ■ 溶剤インク (Mimaki)

耐候性を求められる屋外用サイン製作に向いているプリンターです。  
弊社では出力が混み合ってくると展示会用のサイン用途でもフル稼働します。  
6個のファンで強制乾燥はさせていますが、比較的乾燥までに時間がかかります。  
**用途：バナー・塩ビシート・出力経師・ポスター・パネルなど**



### ■ 水性インク (Canon)

特徴としては、スピードが早く安定した性能を長時間持続することが可能。臭気が少なくクリーン。  
**展示会基礎工事の社名板、突き出し看板、誘導サイン、雑看板などの大量出力に大活躍**しています。  
**高詳細出力を活かして美術展などの作品出力。**  
**用途：パネル・ポスターなど**



次回は 11 月中旬に  
サイン屋業界の「用語」について配信します。